

各 位



平成 19 年 5 月 21 日

本店所在地 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
会 社 名 SBI ホールディングス株式会社
(コード番号 8473 東証第一部、大証第一部)
代 表 者 代表取締役 CEO 北 尾 吉 孝
問 い 合 せ 先 責任者役職名 取締役常務 CFO
平 井 研 司
電 話 番 号 0 3 - 6 2 2 9 - 0 1 0 0 (代 表)

中規模企業を対象とした投資分野におけるゴールドマン・サックス・グループとの 資本・業務提携に関するお知らせ

SBI ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表者:北尾 吉孝、以下「当社」)は、ゴールドマン・サックス証券株式会社(本社:東京都港区、代表者:持田 昌典)のグループ会社(以下、「GS グループ」)と、資本・業務提携に関する契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

これにより、当社は連結子会社である SBI キャピタル株式会社(以下、「SBIC」)株式の 40%を GS グループへ譲渡し、当社及び GS グループはジョイントベンチャーとなる SBIC において、主に中規模の優良企業や成長性の高い企業を対象としたバイアウト等の投資を行うファンドを組成・運営していくこととなります。

記

1. 資本・業務提携の理由

当社グループは、日本最大級のベンチャーキャピタルとして IT 企業等への投資・育成に豊富な実績を有する一方、オンライン証券最大手である SBI イー・トレード証券が極めて高い IPO 株式引受関与率を誇る等、特に中堅企業に対して強固なネットワークを構築して参りました。一方 SBIC では、民事再生を申請した元上場企業(株式会社かわでん)による本邦初の再上場を成功させた他、タリーズコーヒーを運営するフードエックス・グローブ株式会社、不動産担保金融を営む株式会社セムコーポレーションへの投資を行う等、主にバイアウト分野において積極的に投資事業を推進しております。

本件契約は、これら当社グループが培ってきた企業ネットワーク及び投資実績と、世界最大手の投資銀行グループとして自己勘定投資ビジネスに豊富な実績を有する GS グループのグローバルな資金力を最大限に活用することにより、地方企業や中堅企業等にも広く最先端の金融ソリューションを提供する投資ファンドの組成・運営を目的としたものです。

今後両社は、SBIC が組成運営するファンドを通じて、業種・投資態様にこだわらず広く国内外の企業に対するバイアウト投資を積極的に行い、産業育成・投資先企業価値の向上へと貢献してまいります。また運用規模としては、3 年以内に外部出資も含めてファンド運用資産総額 1,000 億円を目指します。

2. 資本・業務提携の内容

(1) SBI キャピタル株式会社株式の譲渡について

- ・譲渡人 : SBI ホールディングス株式会社
- ・譲受人 : 有限会社ジュピターインベストメント
(ゴールドマン・サックス証券株式会社のグループ会社)
- ・譲渡株式 : SBI キャピタル株式会社普通株式
- ・譲渡株式数 : 18,756 株 (発行済株式総数の 40%)
- ・譲渡日 : 2007 年 5 月 23 日

(2) 株式譲渡後の SBI キャピタル株式会社の概要について

- ・商号 : SBI キャピタル株式会社
- ・所在地 : 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー
- ・設立年月日 : 2001 年 4 月 13 日
- ・事業の内容 : バイアウトファンドの組成・運営・管理等
- ・資本金の額 : 資本金 109 百万円、資本準備金 27 百万円
- ・出資比率 : SBI ホールディングス株式会社 60%、有限会社ジュピターインベストメント 40%
- ・役員構成(予定) : 代表取締役執行役員 CEO 北尾 吉孝
代表取締役執行役員 COO 東 賢太郎
取締役執行役員 CIO 岩本 和広
(ゴールドマン・サックス・グループからも 2 名の取締役派遣を予定)

3. 業績に与える影響

SBIC 株式の譲渡により、今期連結業績で 49 億円、個別業績で 63 億円の特別利益を計上する見込みです。事業面での影響は現時点では未定です。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先 :

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126